

炭肥の効果

緑の地球ネットワーク

これらの写真は中国山西省大同市で、2010年4月から9月にかけて、小川眞氏（緑の地球ネットワーク顧問、日本バイオ炭普及会会長）の指導によって実施した実験栽培の結果である。

炭肥は木炭と堆肥を2:1（重量比）に混合し2週間ほど発酵させたものを用いた。堆肥はヒトと家畜の糞尿と土とを混ぜたもので、現地では「農家肥」と呼んでいる。木炭はヤナギの枝を無煙炭化器で焼いたもの。

実験区は6区画とし、1m²あたりつぎのように施した。写真左から、1) 対照区（無処理）、2) 堆肥 0.5kg、3) 木炭 1.0kg、4) 炭肥 1.5kg、5) 炭肥 1.0kg、6) 炭肥 0.5kg。

1m²あたり 0.5~1.0kg の炭肥を与えたところで効果が高く、1.5kg では過剰で逆効果になっている。ダイズでもっとも効果が大きく、アワは小さいなど、作物によっても効果は異なる。現地の土壌は pH8.5 のアルカリ性である。

